

「ウェルビーイング／高い生活の質」を上位目的に設定

変え方を変える視点	① ストック重視 フローに加えて ストックの充実 が必須	② 長期的視点重視 目先ではなく、 長期的視点に立った 投資が重要	③ 本質的ニーズ重視 供給者のニーズのみならず、 国民の本質的ニーズ への対応が必要	④ 無形資産重視 高付加価値化の ための無形資産投資 の拡充が不可欠	⑤ コミュニティ重視 国家、市場、 コミュニティの バランスが必要	⑥ 自立・分散型の追求 一極集中・大規模 集中型の経済社会システム からの転換
-----------	--	---	--	--	---	---

③・国民の本質的・潜在的なニーズ  
・国民が、あるべき・ありたい状態を認識

① ストックの充実が、国民の高い生活の質の実現  
に貢献する。ストックを充実させる過程において、  
フローの効果（例：GDP）も得られる。

ストック、あるべき・ありたい状態

現在及び将来の  
国民の高い生活の質、  
ウェルビーイング・  
高い経済厚生

すべての国民が明日への  
希望が持てるように

【非市場 + 市場的価値】

(例)

- 生存・生活の基盤、安心安全
- 賃金(背景としての経済成長)
- 雇用、格差
- 衣食住
- 健康、福祉
- 移動関連
- 地域・コミュニティ・文化
- 安全保障
- 人類の福祉
- 人と動物との共生

共進化

自然資本（環境）

【人類の存続、生活の基盤】

- 自然資本が臨界的な水準から十分に余裕を持って維持され、健全な「自然界の物質循環」が維持される
- 利用可能な最良の科学に基づく環境保全上の支障の防止、環境負荷の総量を削減
  - ✓ 1.5℃目標が達成される気候
  - ✓ 健全な循環経済
  - ✓ 健全な生態系
  - ✓ 残された公害問題の解決 など

【良好な環境】

- 充実した自然資本の水準
  - ✓ 快適な環境(アメニティ)
  - ✓ ネイチャー・ポジティブ など

自然資本を維持・回復・充実させる資本・システム

地上資源を基調とし、自然と共生する  
持続可能な経済社会システム（循環共生型社会の実現）

- 量から質、環境価値を活用した経済全体の高付加価値化
- ② ● 長期的視点に基づく構造変化

【自然資本を改善する資本】

(例)：有形資産(設備、インフラ等)、無形資産

- ✓ 再エネ・省エネ・資源循環関連設備、ゼロカーボン素材
- ✓ ZEB・ZEH、公共交通、EV、充電設備、分散型国土、集約型都市
- ✓ 無形資産(人的資本、環境価値、データ等)、社会関係資本・コミュニティ

【制度・システム】(例)：市場の活用とその失敗の是正等

- ✓ 自立分散、水平分散型のシステム(規模の経済との相互補完)、地域循環共生圏の構築、公正な移行、適応
- ⑥ ✓ 価格メカニズム(CP等)、金融システム(ESG、地域金融等)
- ✓ 循環経済システム、自然を活用した解決策(NbS)、自然と共生する文化
- ✓ 教育・科学研究
- ✓ 国土政策、土地利用政策、持続可能な農林水産業システム
- ✓ 国際枠組、国際協調

あるべき姿、ありたい姿を  
実現するためのコーディネーション

経済社会システム、技術、ライフスタイルのイノベーション